

# 巻頭言

今年の桜は例年よりも随分早く咲き、東京ではもう葉桜になってしまいました。しかし、ここ福島県郡山市では満開を少し過ぎ、花びらが路上をピンクに染め始めました。

「あれっ？」と思われた方もおられるかもしれません。ご報告が遅れましたが、じつは昨年秋より福島県郡山市にある日本大学工学部に勤務しております。福島県は地場産業である医療機器産業を震災の復興事業の柱の一つにしており、日本大学は医学部と工学部が連携した医工連携研究を推進しながら震災復興に貢献することになったのです。工学を少しかじっていた私は、その話が出た時に思わず「手」を上げたのです。私は神戸出身で阪神淡路大震災を経験していますが、ちょうどその年に北京市の中日友好病院に赴任することになっていました。後ろ髪をひかれる思いで中国に渡ることになり、神戸の復興事業には関わることができませんでした。今回このような福島県の復興事業に関わることができることを幸せに感じております。

さて、本号では原著はなく、平馬直樹先生、北川毅先生、柴山周乃先生による連載のみになります。もう少し積極的に原著を募集する必要があるように感じております。今後どのようにしてこの学術誌を活性化させていくのか、色々とご意見をいただければ幸いです。

2013年4月

日本中医学会理事長

日本中医学会雑誌 編集委員長

酒谷 薫